



平成 26 年 11 月 13 日

各 位

上場会社名 **株 式 会 社 ア マ ダ**
代 表 者 代表取締役社長兼最高経営責任者 (CEO) 岡 本 満 夫
(コード番号 6113 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役兼専務執行役員 磯 部 任
電 話 番 号 0463-96-1111 (代表)

持株会社制移行に伴うグループ再編（吸収分割契約等）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 27 年 4 月 1 日付（予定）で持株会社制へ移行することを決定し、それに伴う吸収分割契約等のグループ再編について決議いたしましたので、次のとおりお知らせいたします。

なお、当該決議は、平成 26 年 12 月 19 日開催予定の当社臨時株主総会での承認が得られることを前提としております。

また、本グループ再編は 100%子会社を対象とする会社分割が主でありますため開示事項・内容を一部省略してあります。

記

1. 持株会社制移行の概要

このグループ再編により、当社は商号を「株式会社アマダ」から「株式会社アマダホールディングス」に変更し、事業を営む事業子会社等の株式を保有し、これら事業子会社等の経営を管理することを主目的とする持株会社となり、引き続き上場を維持いたします。

また、持株会社制への移行にあわせて、当社から板金事業、プレス事業及び切削ブレード開発・製造事業を分離いたします。板金事業はさらに板金販売・サービス事業、板金開発・製造事業に機能分離し、各々持株会社傘下となる事業会社で行うこととなります。

さらに、持株会社制導入に当たり、平成 26 年 10 月 22 日付で当社の 100%子会社である株式会社アマダ分割準備会社及び株式会社アマダエンジニアリング分割準備会社を設立し、この 2 社と既存の当社 100%子会社である株式会社アマダマシントールの計 3 社に対し、平成 27 年 4 月 1 日を効力発生日として、当社の事業を承継させる吸収分割を行うことに合意し、平成 26 年 11 月 13 日付で各社と吸収分割契約を締結いたしました。

なお、平成 27 年 4 月 1 日付をもって、吸収分割により板金販売・サービス事業を承継する分割準備会社が新たに「株式会社アマダ」に商号を変更する予定であり、板金機械の開発・製造を担う「株式会社アマダエンジニアリング」と共にグループの中核をなす事業会社となる予定です。

また、会社分割以外のグループ再編も同時に行います。サービス体制の強化を目的にサービス機能を当社からアマダ汎用機械株式会社に移管し、平成 27 年 4 月 1 日付で「株式会社アマダテクニカルサービス(仮称)」として事業を展開いたします。また、総務・人事等のグループ内の共通業務を集約し、シェアードサービスを専門特化して行う「株式会社アマダビジネスサポート」を立ち上げます。これによりコスト削減や効率性の向上を図ってまいります。

2. 持株会社制への移行の背景・目的

当社グループでは「お客さまとともに発展する」という経営理念の下、激変するグローバル市場に対応する改革を間断なく進め、モノづくりを通じて世界の人々の豊かな未来に貢献してまいりました。現在、平成 28 年(2016 年)3 月期に売上高 3,000 億円、営業利益率 15%を目標とした中期経営計画を推進中ではありますが、2 年後の創業 70 周年、その先の 100 周年への次のステージを見据え

た持続的成長とより一層のグループ経営効率の最大化による収益拡大に向けて、強固な経営基盤の再構築を行う必要があると判断し、持株会社制への移行を決定いたしました。

その主な目的は次の2つであります。

(1) 強固な経営基盤の再構築

持株会社制移行に伴い、事業独立採算制による強固な収益体制の構築、グループシナジーを追求した成長戦略の立案並びに変化を察知しスピード対応できる組織体制への変革により、成長戦略の推進と収益性の向上を図ってまいります。

(2) 経営と執行を分離し、役割と責任を明確化

当社はアマダグループの本社として、グループ全体最適の追求、グループ・グローバル戦略の立案並びに最適ナリソース配分と柔軟なポートフォリオの構築に専念いたします。

一方、各事業執行会社においては、権限委譲によるスピード経営の実現、責任体制の明確化及び収益性の追求を図ってまいります。

3. 会社分割の要旨

(1) 分割の日程

臨時株主総会に係る基準日公告	平成 26 年 9 月 13 日
臨時株主総会に係る基準日	平成 26 年 9 月 30 日
吸収分割契約承認取締役会決議	平成 26 年 11 月 13 日
吸収分割契約承認臨時株主総会決議	平成 26 年 12 月 19 日(予定)
本件分割の効力発生日及び分割登記	平成 27 年 4 月 1 日(予定)

(2) 分割方式

吸収分割

当社を分割会社とし、当社の100%子会社である株式会社アマダ分割準備会社、株式会社アマダエンジニアリング分割準備会社、株式会社アマダマシンツールを吸収分割承継会社とする吸収分割であります。分割後の当社は、各事業を営む事業子会社等の株式を保有し、これら事業子会社等の経営を管理することを目的とする持株会社となり、引き続き上場を維持いたします。

(3) 分割により減少する資本金等

該当事項はありません。

(4) 分割会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

当社は新株予約権を発行しておりますが、これらの取扱いに関しては、本件分割による承継はありません。なお、当社は新株予約権付社債を発行しておりません。

(5) 吸収分割承継会社が承継する権利義務

各吸収分割承継会社が当社から承継する権利義務は、グループ運営機能に関連するグループ共有資産等を除き、本件分割の効力発生日現在の当社分割対象事業に属する資産、負債、その他権利義務といたします。

なお、各吸収分割承継会社が当社から承継する債務については、併存的債務引受の方法によるものといたします。

(6) 債務履行の見込み

当社及び各吸収分割承継会社が負担すべき債務については、履行の確実性に問題はないものと判断しております。

4. 分割当事会社の概要

	分割会社 平成 26 年 3 月 31 日現在	吸収分割承継会社 平成 26 年 10 月 22 日現在
(1)商号	株式会社アマダ (平成 27 年 4 月 1 日付で株式会社アマダ ホールディングスに商号変更予定)	株式会社アマダ分割準備会社 (平成 27 年 4 月 1 日付で株式会社アマ ダに商号変更予定)
(2)主な事業内容	金属加工機械器具並びに金属工作機械 器具の製造、販売、賃貸、修理、保守、 点検、検査等	本吸収分割前は事業を行っておりませ ん。(平成 27 年 4 月 1 日から板金機械の 販売・サービス事業等を行う予定で す。)
(3)設立年月日	昭和 23 年 5 月 1 日	平成 26 年 10 月 22 日
(4)本店所在地	神奈川県伊勢原市石田 200 番地	神奈川県伊勢原市石田 200 番地
(5)代表者の役職・氏名	代表取締役社長 岡本 満夫	代表取締役社長 岡本 満夫
(6)資本金	54,768 百万円	50 百万円
(7)発行済株式数	396,502,117 株	1,000 株
(8)純資産	333,754 百万円	50 百万円
(9)総資産	406,090 百万円	50 百万円
(10)1 株当たり純資産	872.41 円	50,000 円
(11)売上高	139,252 百万円(単独)	—
(12)営業利益	12,159 百万円(単独)	—
(13)経常利益	17,492 百万円(単独)	—
(14)当期純利益	11,268 百万円(単独)	—
(15)1 株当たり当期純利益	29.50 円(単独)	—
(16)決算期	3 月 31 日	3 月 31 日
(17)大株主及び 持株比率	日本トラスティ・サービス信託銀 10.85% 行株式会社(信託口) 日本マスタートラスト信託銀行(株) 6.50% (信託口) 株式会社みずほ銀行 3.78% 資産管理サービス信託銀行(株) 2.97% (信託口) 公益財団法人天田財団 2.50%	株式会社アマダ 100%

	吸収分割承継会社 平成 26 年 10 月 22 日現在	吸収分割承継会社 平成 26 年 3 月 31 日現在
(1)商号	株式会社アマダエンジニアリング 分割準備会社 (平成 27 年 4 月 1 日付で株式会社アマダ エンジニアリングに商号変更予定)	株式会社アマダマシンツール
(2)主な事業内容	本吸収分割前は事業を行っておりませ ん。(平成 27 年 4 月 1 日から板金機械の 開発・製造事業等を行う予定です。)	金属工作機械器具等の製造、販売等 (平成 27 年 4 月 1 日から従来事業に加 え、プレス事業、切削ブレード開発・製 造事業等を行う予定です。)
(3)設立年月日	平成 26 年 10 月 22 日	平成 9 年 9 月 25 日
(4)本店所在地	神奈川県伊勢原市石田 200 番地	神奈川県伊勢原市石田 200 番地
(5)代表者の役職・氏名	代表取締役社長 岡本 満夫	代表取締役社長 末岡 慎弘
(6)資本金	10 百万円	400 百万円
(7)発行済株式数	200 株	9,568 株
(8)純資産	10 百万円	16,699 百万円
(9)総資産	10 百万円	29,712 百万円
(10)1 株当たり純資産	50,000 円	1,745,394.71 円
(11)売上高	—	32,855 百万円
(12)営業利益	—	2,258 百万円
(13)経常利益	—	2,577 百万円
(14)当期純利益	—	1,583 百万円
(15)1 株当たり当期純利益	—	165,469.87 円
(16)決算期	3 月 31 日	3 月 31 日
(17)大株主及び 持株比率	株式会社アマダ 100%	株式会社アマダ 100%

(注) 株式会社アマダ分割準備会社及び株式会社アマダエンジニアリング分割準備会社におきましては最終事業年度が存在しないため、両社の設立時における貸借対照表記載項目のみ表記しております。

5. 分割する事業部門の概要

(1) 分割する部門の事業内容

板金機械販売・サービス事業、板金機械開発・製造事業、プレス事業、切削ブレード開発・製造事業

(2) 分割する部門の経営成績(平成 26 年 3 月期)

分割する事業部門	分割する事業部門の売上高	持株会社制移行後の 事業会社
板金機械販売・サービス事業	81,412 百万円	株式会社アマダ
板金機械開発・製造事業	2,669 百万円	株式会社アマダエンジニアリング
プレス事業、切削ブレード開発・製 造事業	13,738 百万円	株式会社アマダマシンツール

※ 単体実績を基に算定しており、決算短信等のセグメント情報と一致するものではありません。

(3) 分割する資産、負債の項目及び金額(平成 26 年3月 31 日現在)

①板金機械販売・サービス事業

資産		負債	
項目	帳簿価額	項目	帳簿価額
流動資産	96,606 百万円	流動負債	50,996 百万円
固定資産	2,627 百万円	固定負債	3,971 百万円
合計	99,234 百万円	合計	54,968 百万円

②板金機械開発・製造事業

資産		負債	
項目	帳簿価額	項目	帳簿価額
流動資産	16,964 百万円	流動負債	2,939 百万円
固定資産	2,753 百万円	固定負債	1,877 百万円
合計	19,718 百万円	合計	4,817 百万円

③プレス事業、切削ブレード開発・製造事業

資産		負債	
項目	帳簿価額	項目	帳簿価額
流動資産	3,355 百万円	流動負債	1,668 百万円
固定資産	2,370 百万円	固定負債	458 百万円
合計	5,725 百万円	合計	2,127 百万円

6. 会社分割後の当社の状況(予定)

- (1)商号 株式会社アマダホールディングス
(平成 27 年4月1日付で株式会社アマダから株式会社アマダホールディングスに商号変更予定)
- (2)事業内容 グループ会社株式保有によるグループ戦略策定、経営企画等
- (3)本店所在地 神奈川県伊勢原市石田 200 番地
- (4)代表者の役職・氏名 代表取締役会長 岡本 満夫
代表取締役社長 磯部 任
- (5)資本金 54,768 百万円
- (6)決算期 3月 31 日
- (7)今後の見通し

当社は、持株会社化後、引き続き上場会社となるとともに、グループ全体の戦略策定、経営資源の最適化及びグループ会社における業務執行状況チェックなどの機能を担い、グループ経営体制を整備することにより企業価値の向上を目指してまいります。なお、本件分割はグループ単独の会社分割のため、当社の連結業績に与える直接的な影響はありません。

7. 会社分割以外のグループ再編について

(1) サービス業務の集約

これまで、板金機械の保守を担っていたサービス組織を当社より分離し、独立採算制のサービス専門会社として株式会社アマダテクニカルサービス(仮称)を発足させます。より高いサービス品質、サービス効率を実現させ、サービスビジネス強化による顧客満足度の向上、及びサービスメニュー化によるサービスビジネスの拡大を図ります。

(2) シェアードサービスの分社化

現在のアマダの総務・人事等のグループ内の共通業務を集約し、新設する株式会社アマダビジネスサポートに移管します。同社は、グループ内共通業務、間接材購買、施設・設備修繕などを担当し、グループ間接業務の集約・効率化による収益体質の改善を図ります。

以 上